第1部 上映会

「ハトは泣いている – 時代(とき)の肖像」

第2部 トーク登壇者

岡 裕人(おか ひろと)

一橋大学大学院社会学研究科修士課程修了。89 年渡独し、コンスタンツ大学大学院歴史学科で博士号取得。ベルリンの壁崩壊を見聞し、以後変革するドイツで歴史研究と教育に携わってきた。現在フランクフルト日本人国際学校事務局長、在フランクフルト。著書に『忘却に抵抗するドイツ - 歴史教育から「記憶の文化」へ』（大月書店)、共著に『世界の歴史教育』(ゲオルク・エッカート研究所編)(独語)、『「ホロコーストの記憶」を歩く – 過去をみつめ未来へ向かう旅ガイド』(石岡史子と共著、子どもの未来社)等。

石岡 史子(いしおか ふみこ)

NPO 法人ホロコースト教育資料センター代表。命や人権を尊ぶ心、他者への寛容な心を育んでほしいと願い、ホロコースト史を教材とした学校訪問授業を行う。毎年大学生のポーランド・ドイツ研修旅行を引率。『ハンナのかばん』(ポプラ社)の登場人物、訳者。

主催　伊藤 白(いとう ましろ)

学習院大学文学部ドイツ語圏文化学科准教授。京都大学大学院文学研究科博士後期課程修了後、国立国会図書館勤務、08 年京都大学博士号(文学)を取得、15 年より現職。専門はトーマス・マンの文学、ドイツの図書館制度。著書に『トーマス・マンの女性像 自己像と他者イメージのあいだで』(彩流社)